

ごてんばの富士山豆博士事業

富士山の豊かな自然と恵みを後世に継承するために「富士山基金」の一部を活用して「ごてんばの富士山豆博士事業」を実施しています。

富士山豆博士事業とは、富士山及び富士山麓の豊かな自然に触れ親しむことで、新しい発見をし、一人ひとりが「ごてんばの富士山豆博士」になることを目的とした事業です。各学校の特徴や地域性を生かして取り組むことにより、児童・生徒が身近な富士山の素晴らしさを再認識します。

平成 18 年度に事業を開始して以来、これまでに 6,557 人の富士山豆博士が誕生しました。

問い合わせ／環境課 ☎ (83)1603

【御殿場小学校】 6年生 137人が取り組みました。

富士山フィールドワーク

須走口から古富士までフィールドワークを行い、植物の種類や特徴、溶岩や火山灰の中の森の様子を学びました。また、4つのグループに分かれて施設見学や様々な体験をしました。

「気象観測を学ぶコース」では富士山レーダードーム館を見学し、レーダーを山頂に建設した歴史を学びました。当時の大変さや自然の厳しさを感じることができました。

「動植物を学ぶコース」では生物多様性センターを見学しました。生きものが様々な環境に適応して進化し、直接的・間接的に支えあって生きていることを学びました。

「地形を学ぶコース」では富岳風穴・鳴沢氷穴を回り、溶岩からどのように洞窟が形成されたのか、森はどのように形成されたのかを学びました。自然の偉大さや不思議を実感することができました。

「文化を学ぶコース」ではふじさんミュージアムで富士山に関する信仰や芸術について調べ、富士講や当時の富士登山、御師について学びました。北口本宮富士浅間神社では江戸時代の登山道にも足を踏み入れました。

発表会

フィールドワークでの体験や見学で富士山についての興味関心がより高まり、各自で関心や疑問をもとにテーマを決め、グループごとに調べ学習をして発表会を行いました。



【御殿場南小学校】 5年生 140人が取り組みました。

富士山学習

日本野鳥の会東富士支部から講師を迎え、富士山に生息する野鳥の種類や植物の特徴、富士山の成り立ちや歴史など幅広く学びました。

講話の後には実際に富士山太郎坊まで登り、富士山に生息する野鳥の巣に触れ、巣が思っていたよりも柔らかいことを知り、生息している植物を観察し、普段住んでいる場所とは違った形の植物が生息していることにどうして違いが生まれるのかと関心を持ちました。子ども達は、講師の皆さんのお話を聞き、実際に触れたり観察したりしたことで、生命の連続性の不思議や自然の力の大きさを感じることができました。

また、ふじさん部から講師を迎え、富士山の歴史・信仰・芸術・環境をテーマに、富士山の魅力や富士山の抱える課題などを学びました。講話の後には富士山に関する短歌を考えて発表し、人それぞれ富士山に対する思いが違うことに気づき、富士山に対する愛着を深めました。

総合的な学習の時間

富士山についての疑問や興味のあることを「自然」「噴火」「気候」「文化・観光」の大テーマに分類し、各自追求したいテーマを選んでグループを作成し、調べ学習を進めました。グループごとに新聞作成や実験、劇など様々な表現方法で研究の成果をまとめ、発表しました。様々な学習を通して、富士山の素晴らしさに気づき、より関心を持つことができました。



【朝日小学校】 5年生 59人が取り組みました。

オリジナル富士山の絵

富士山をテーマにした短歌の作り方を学び、各自で創作した短歌に合った富士山のイメージ画を描きました。構図や配色を工夫し、個性豊かな富士山の絵が完成しました。

水をテーマにした富士山校外学習

「富士山と水」をメインに自分達が調べてきたことを確認しようと、山梨県の「鳴沢氷穴探検」「山梨県富士山科学研究所見学」「忍野八海巡り」「富士湧水の里水族館見学」を実施し、富士山の美しさや富士山が育んだ自然とふれあう貴重な体験をし、富士山について再発見することができました。

横浜市の小学校と富士山学習交流会

青少年交流の家で、横浜市の上寺尾小学校の5年生と富士山学習交流会を行いました。各テーマに沿って調べてきた富士山について、クイズ形式で発表しました。横浜の小学生からは「富士山のことがよくわかった」「初めて知ることが多かった」と感心する感想が寄せられました。最後に子ども達が描いた富士山の絵と短歌をプレゼントしました。

朝日っ子祭りで富士山豆博士発表

富士山をテーマに店を開き、各グループで調べた富士山の秘密や不思議をゲームやクイズ形式で発表しました。また「浅間神社の水」を使ってお茶をいれ振る舞いました。



【高根中学校】 1年生 44人が取り組みました。

劇「怒る富士」の公演

高嶺祭文化の部で、「怒る富士」を演じました。宝永噴火から、地域に起こった悲劇そして復興への取り組みを、劇団たんぼの皆さんの指導のもと、気持ちのこもった力強い台詞や臨場感のある振る舞いで演じられました。

校外学習

校外学習として、「怒る富士」に出てくる、幕府の命により被災地支配の兼務のためこの地に派遣された伊奈半左衛門忠順を奉ってある須走の伊奈神社、富士浅間神社、富士山レーダードーム館、富士山世界遺産センター、船津胎内樹型、富士湧水の里水族館を訪れました。様々な施設での体験や講話を通して、富士山の過酷な自然環境や富士山と人・地域とのつながりなど、多くの視点からの富士山像を考え学ぶことができました。

富士山への思いをフラッグに

富士山への願いや思いを1枚の布にメッセージとして書き表しました。いつまでも誇れる自然豊かな山として存在し続けてほしいという思いをたくさん書きました。

富士山川柳作成と活動の振り返り

富士山豆博士事業を通して、1人1句短冊に富士山をテーマに川柳を作りました。また、各活動場所での学びの達成度や、校外学習を通して感じた富士山への思いや気付いたことを振り返り、模造紙に写真とともにまとめました。

